

第6期洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(素案)

パブリックコメントの結果 を公表します



洞 爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(素案)に対するパブリックコメントの募集に対し、1人の方(30代)から3件の意見が寄せられましたので、同意見と町の考え方を紹介します。

2月23日の第5回介護保険運営協議会で審議を行い、パブリックコメントの意見をもとに、計画の修正を行いました。

■問合せ 健康福祉課 介護保険グループ
☎74-3001

応募意見

●意見の内容

第3章 高齢者福祉のとりくみの4.民間福祉活動(P12) (3) ボランティア活動の推進を追記したらどうか。

P1下段の文言にボランティアや地域住民の支え合いの果たす役割に注目が集まっている。「①孤立しがちなひとり暮らし高齢者などに対する見守りや②日常的な助け合い活動等を活性化させることが重要」と記されているが、もう少し踏み込んだ内容の提示があってもいいかと思います。

上記①②も含め町内の各種ボランティア、NPO等の活動の参加を促進するとともに、定年後の方(団塊世代)など人生経験豊富な元気で活力のある高齢者が種々の興味のあるボランティア活動に主体的に取り組めるよう広報など様々な手段を通じて社会参加を促すようにしていってほしいと思います。

これからのことを考えると元気な高齢者は増えてくるので、こういった社会活動が高齢者自身の健康づくりや介護予防にもつながっていくと思います。

その方々の腰をあげてもらうためには、特典やポイント制などを導入して積極的に関わられるように環境整備が大切だと考えます。

まちの考え方

ご指摘のとおりボランティア活動の推進に関する具体的な記載が少なかったと思います。公的サービスでは支援できない部分の支援や高齢者がボランティア活動をすることで社会参加や健康増進を図り、生きがいつくりや介護予防につながると考えています。また、高齢者等のボランティア活動に対する動機づけを高めるため、ポイント制度を取り入れることについても、他市町村の効果的な取り組みを参考に検討しています。

第6期計画においては、(P44～P45)、第5章 地域で安心して暮らし続けるために 4.介護予防・日常生活支援総合事業の実施②生活支援サービスの充実において、高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業など多様な主体を活用して高齢者の生活支援サービスを整備していくことや「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進委員)」の配置を通して高齢者の社会参加と地域における支え合いの体制づくりをしていくことをめざしています。

●意見の内容

第4章 介護保険のとりくみ 4.地域支援事業(2)任意事業(P28) ④家族介護教室を追記したらどうか。

高齢者を介護している家族の方などを対象に、介護に関する知識や技術などについて学ぶための教室や介護者相互の交流を図るための介護者同士の情報交換会や交流会を開催し、介護者が日常感じている悩みや疑問点またはストレスの解消に役立たせたらどうか。医療職や介護技術職など関係機関の方々を講師として、堅苦しくない雰囲気で開催できたら良いかと考えます。

現在、「介護交流会」という名称で、在宅で介護している家族の精神的負担の軽減を目的に、介護から一時的に解放するための介護者相互の交流会を実施しています。現時点では参加数が数名のため、まず次年度以降周知や組織づくりに力を入れる予定でいます。

介護に関する教室としては、介護予防普及啓発事業(P28の⑥)の中で介護予防講演会等で開催していますが、介護を学ぶ機会としては、交流会の方でも希望があれば講師を調整し開催していきたいと考えています。

●意見の内容

第5章 地域で安心して暮らし続けるために(P45) 6.安全な外出確保及び交通事故被害の防止を追記したらどうか

高齢者が安全に外出でき、また、交通事故を起こすことがないよう老人クラブ、自治会、警察等と連携を図り、出前講座やシルバー交通安全教室など、各種研修会の開催と会報等を通じた啓発活動を実施する。また、高齢者を狙う悪質な犯罪の未然防止を図り、地域における安全・安心できるまちづくり活動を進め、高齢者の生活全般に対する様々な不測の事態から生活を守る取り組みを推進できたら良いかと考えます。

急速な高齢化の進展に伴う高齢者の交通事故抑止のため、高齢者自らが交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけ、交通安全意識の向上を図るよう関係機関と連携し取り組みを推進します。また、高齢者の消費者被害や高齢者が被害に遭いやすい振り込め詐欺など、加齢に伴う判断力の低下や悪質業者の手口の巧妙化などにより被害が増えています。広報や啓発活動にとどまらず、家族や地域全体による高齢者の見守りが重要と考えることから、各団体等の取り組みについて支援をしていきます。

(全文「7.高齢者の交通安全と防犯対策」として追記します)